資料1

沖縄県医療提供体制協議会(新興感染症等医療部会)

令和6年度 第8次沖縄県医療計画 (新興感染症発生・まん延時における医療)の進捗評価

令和7年8月 保健医療介護部 地域保健課

令和6年度の進捗評価結果

総合評価の判定方法

A: 強化すべき B: 維持すべき

C: 検討を続けるべき

D: 中止を検討すべき E: 中止すべき

目指す姿

新興感染 症発生• まん延時 において、 新型コロ ナウイル ス感染症 対応にお ける最大 規模の医 療提供体 制を目指 す。

分野アウトカム
新興感染症の発
生・まん延時に
おいて、新型コ
ロナウイルス感
染症対応におけ
る最大規模の医
療提供体制を目
指し、平時から
地域における役
割分担を踏まえ
た新興感染症に
対応する医療及
び新興感染症以
外の通常医療の
提供体制の確保
を図る。

中間アウトカム(6施策)	個別施策(12)	総合評価
1. 病床確保	新興感染症発生時からの対応	B.維持
	流行初期の対応	B.維持
	一定期間経過後の対応	B.維持
	特に配慮が必要な患者を受け入れる医療機関の確保	B.維持
2. 発熱外来	発熱外来に対応する医療措置協定の締結	B.維持
	流行初期医療確保措置による医療機関の確保	B.維持
3. 自宅療養者等への医療の提供	居宅等で療養する新興感染症患者への医療提供に対 応する医療協定の締結	B.維持
	高齢者施設等への医療提供体制の確認	B.維持
4. 後方支援	新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体 制の整備	B.維持
5. 医療人材派遣	医療人材派遣を行う医療措置協定の締結	A.強化 すべき
6. 入院調整、臨時の医療施 設及び入院待機施設の設置及	入院調整体制の構築	B.維持
び運営の対応を想定した平時における取組	臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の 流れの確認	A.強化 すべき

1. 病床確保(新興感染症患者を入院させ、必要な医療を提供する体制の整備)

	ロジックモデル									ル									
番号	^{番号} C 個別施策 ^{番号}						番号	В中	間アウトカ	4				番号	A 分野	アウトカ	14		
		基準年	直近	結果	目標			指標項目	基準年	直近	結果	目標	7 [指標項目	基準年	直近	結果	目標
	101)新興感染症発生時からの対	 応(感染症	· 定指定医療植	幾関)			(新感B-1 保)	101)新興感染症を入院させ、必	必要な医療を	を提供する(本制の整備	(病床確		大規模の医療	新興感染症の発生・まん延時におし 非提供体制を目指し、平時から地域 f興感染症以外の通常医療の提供体は	における役割	割分担を踏ま		
	- 第一種感染症指定医療機関	-	R6年度		R11年度		新感O	1流17初期医療傩保措直医療	-	R6年度		R11年度		新感0-		-	R6年度		R11年度
	指 及び第二種感染症指定医療) 機関の指定数	一種 2機関 二種 6機関	一種 2機関 二種 6機関	\rightarrow	一種 2機関 二種 6機関	1 I	201(指標②) 機関の確保可能症		-	563床	-	437床		101(指標①)	中間アウトカム達成率	不明		-	100
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						-	新感O- 各協定締結医療機関(入	-	R6年度		R11年度							
	□ 流行初期医療確保措置の対	-	R6年度		R11年度		202(指 標③) 院) の確保病床数	-	790床	-	987床								
302(指 象となる協定締結医療機関 (入院)数	-	17機関	-	27機関		新感O- 203(指 標④) 各協定締結医療機関(入 院)の重症者病床数	─	-	R6年度		R11年度			(結果の表				
	/ (八虎)	 療措置協定	 指定医療	と となって、				-	59床	-	72床		青: 改善	1					
			,	I	D11 /	-	新感O	1付に作用 ルか安な 忠有の物	-	R6年度		R11年度							
新感F 303(洒床帷保を仃り各脇正締結	-	R6年度		R11年度		204(排標⑤)	I □ 	-	263床	-	308床			亦・ 及 と	7			
標8		-	46機関	-	36機関		JACO7						<u>ا</u>		黒: 横ばい	\rightarrow			
(新感C-	104)特に配慮が必要な患者を受	が入れる圏	医療機関の研	寉保											黒: 指標評価なし				
新感F	- 特に配慮が必要な患者の病	-	R6年度		R11年度														
704(至	告	-	27機関	-	16機関										結果は、基準年と直近との	の比較			

注) 指標(②):流行初期(発生公表後3か月まで) 指標(③):流行初期以降(発生公表後6か月まで)指標(⑦):知事の要請日から起算して7日以内に実施

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	 病院の建替えや人員不足等の理由により「流行初期医療確保措置の対象となる病床数の基準」を満たさない総合病院が複数ある。(新感C-102) 特に配慮が必要な患者については、医療機関数は目標値に達しているが(新感C-104)、病床数が目標未達の状態となっている。 	 各協定締結医療機関(入院)の確保病床数(新感O-202) 及び重症者病床数(新感O-203)については、総合病院の病床 確保数がコロナ禍と比べ少ないため、さらなる病床確保が必 要である。 特に配慮が必要な患者の病床数(新感O-204)については、精 神疾患を有する患者が目標に対し6割程度、認知症患者対応 可能病床が目標に対し3割程度となっている。
今後の対応	 総合病院との協議の検討を行いながら、流行初期医療 確保措置対象となる新たな医療機関の確保に取り組む。 	総合病院(県立・民間・大学)等との協議を継続し病床確保に取り組む。精神疾患を有する患者及び認知症患者対応可能病床を中心に病床確保に取り組む。

取	•
組	

Ш	事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
	感条症指定医療機関 D指定 感染症指定医療機関 ■党補助事業	・第一種感染症指定医療機関及び 第二種感染症指定医療機関の指 定を行う・医療体制の構築を図るため、運 営費補助を行う	_	県 医療機関	地域保健課	19,000	32,000	第一種感染症指定医療機関として2医療機関、第二種感染症指定医療機関として6医療機関の指定を行っている。第一種及び第二種感染症指定医療機関に運営費補助を行い、円滑な医療提供体制の確保を図ることができた。

初期アウトカム

効果

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	笠 琵琶沈连七宁医鹿撒明五75笠	-			R6年度	
301(指標6)	第一種感染症指定医療機関及び第 二種感染症指定医療機関の指定数	一種 2機関 二種 6機関	一種 2機関 二種 6機関	一種 2機関 二種 6機関	一種 2機関 二種 6機関	\rightarrow

中間	間アウトカム 指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O-	流行初期医療確保措置医療	-			R6年度	
201(指 標②)	機関の確保可能病床数	-	-	-	563床	_
新感O-	各協定締結医療機関(入院)	-			R6年度	
202(指 標③)	の確保病床数	_	-	-	790床	_
新感O-	各協定締結医療機関(入院)	-			R6年度	
203(指 標 ④)	の重症者病床数	-	-	-	59床	_
新感O-	特に配慮が必要な患者の病	-			R6年度	
204(指 標⑤)	床数	-	-	-	263床	_

	評価軸	評価軸 評価ポイント 具体的な評価ポイント		情報源	評価結果	判定	
			分野・中間アウトカムは適切か		・ 分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8	○ 上ハに洪t + t 7 1 1 Z	
	整合性(セオリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルとの比較	次医療計画の作成において、新興感染症 分野の新たな追加の際に、部会での審議	B かなり満たされている	
	у / втіш	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	を踏まて設定したものであり、引き続き、 注視していく必要がある。		
			資源は用意されたか	予算(決算)書	・ 上記の取り組み予算額とおり。		
	宝行(プロセ	z 決めたことをきちん とやっているか	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない	
	ス)評価		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・ 予定どおり実施した。		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング			
			アウトカムは向上したか	アウトカム指標	• 直近の指標結果しかないため、向上したか判断できない。		
	効果(インパ クト)評価	やったことが効いて いるのか	アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	• 直近の指標結果をみると、アウトカム指標の各協定締結医療機関(入院)重傷者病床数を除くと、アウトプット指標値と	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	アウトカム指標値ともに目標値を達成している。		
	総合評価 この施策をやり続 けるべきか 上記3評		上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	引き続き、施策を取り組んでいく必要があ る。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

(新感C-102) 流行初期の対応(流行初期医療確保措置医療機関等)

取
組

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)	
	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	17機関	

初期アウトカム

効果

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
3	新感P- 法信知期医病效促进器の社会した	-			R6年度	
	新窓門 302(指 標⑦)) 「続行初期医療確保措置の対象となる協定締結医療機関(入院)数	-	-	-	17機関	_

中間	間アウトカム	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O-	 流行初期医療確保措	置医療	-			R6年度	
201(指 標②)	機関の確保可能病は		-	-	-	563床	_
新感O-	 各協定締結医療機関	月(入『宗)	-			R6年度	
202(指 標③)	の確保病床数	5 () (DL /	-	-	-	790床	_
新感O-	 各協定締結医療機関	月(入『宗)	-			R6年度	
203(指 標④)	の重症者病床数	5 () (DL /	-	-	-	59床	_
新感O-	 特に配慮が必要な患	老の病	-			R6年度	
204(指標⑤)	床数	N°□ V77/M	-	-	-	263床	_

Ī		
ì		

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
		分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジッ クモデルについては、令和5年度の第8次()	
整合性(セオリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論 分野・中間アウトカムの指標は適切か		・他府県ロジックモデルとの比較	ケモテルについては、〒和5年度の第8次 医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	A) 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
У / ат іш	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	の新たな追加の際に、部会での番譲を踏ま て設定したものであり、引き続き、注視し ていく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
		資源は用意されたか	予算(決算)書	_		
実行(プロセ	決めたことをきちん	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		☑ 予定通り実行されている B ほぼ実行されている	
ス)評価	とやっているか	アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度(初年度)から実績値が目標 値の約6割達成されているため、順調に実	C 一部実施されている D 実施されていない	
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	施がなされている。		
		アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上した か判断できない。	A とても効果を出し て いる	
効果(インパクト)評価	やったことが効いて いるのか	アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、中間アウトカ ム指標では、各協定締結医療機関(入院) 重傷者病床数を除き目標値を達成している。	B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング	主物行物体数を体で自体値を延灰している。		
総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき 維持すべき 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

(新感C-103) 一定期間経過後の対応 (医療措置協定医療機関)

取
組

効果

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)	
 	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	46機関	

初期アウトカム

指標項目		基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	庁庁改得さなるないではは 医	-			R6年度	
303/指	病床確保を行う各協定締結医療機関数	-	-	1	46機関	_

中間	アウトカム	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果	
新感O-	流行初期医療確	保措置医療	-			R6年度		
201(指 標②)	機関の確保可能		-		-	563床	_	
新感O-	各協定締結医療	機関(入院)	-			R6年度		
202(指 標③)	の確保病床数		-	-	-	790床	_	
新感O-	各協定締結医療	機関(入院)	· –			R6年度		
203(指 標 ④)	の重症者病床数		-	-		59床	-	
新感O-	特に配慮が必要	た串考の病	1			R6年度		
204(指 標⑤)	床数	7 の心口 077内	-	-	-	263床	_	

	1	Ī
F	 -	
1	I	ij

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
			分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次((4) 上八に洪たされている	
	整合性(セオリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルとの比較	ケモナルについては、〒和3年度の第8次(医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
	リー/ a+1 	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	の新たな追加の際に、部会での番譲を踏ま て設定したものであり、引き続き、注視し ていく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
			資源は用意されたか	予算(決算)書	_		
	実行(プロセ	 決めたことをきちん	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている	
	ス)評価	とやっているか	アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度の実績値が目標値を達成して おり、予定どおり実施がなされている。	C 一部実施されている D 実施されていない	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング			
			アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上した か判断できない。	A とても効果を出している	
	効果(インパ クト)評価	やったことが効いて いるのか	アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトカム指標の各協定締結医療機関(入院)重傷者病 ・	B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	トカム指標値ともに目標値を達成している。		
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

(新感C-104) 特に配慮が必要な患者を受け入れる医療機関の確保

取
組

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)	
1年1841年161年17月18年1	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	27機関	

初期アウトカム

効果

指標項目		基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	特に配慮が必要な患者の病	-			R6年度	
304(指標9)	床を確保する医療機関数	-	-	-	27機関	_

	中間	『アウトカム	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新	感0-	流行初期医療確	保措置医療	-			R6年度	
	201(指 標②) 機関の確保可能病床数			-	-	-	563床	_
	新感O- 各協定締結医療機関(入院)		1			R6年度		
20 標	202(指 標③) の確保病床数	成 大 八	-	-	-	790床	_	
新	感O-	各協定締結医療	機関(ス (空)	-			R6年度	
	3(指票4)	の重症者病床数	成 大 九	-	-	-	59床	-
	感O-	特に配慮が必要	か出考の病	1			R6年度	
	(指票5)	床数	る心中の利	-	-	-	263床	_

	1	Ī
F	 -	
1	ø	ij

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
			分野・中間アウトカムは適切か				
	整合性(セオーリー)評価		分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルとの比較	クモデルについては、令和5年度の第8次(医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
	7 / BT IIII		分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	で設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
			資源は用意されたか	予算(決算)書	_		
	実行(プロセ	·· · · ·	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている	
	ス)評価		アウトプットが生まれているか	・令和6年度の実績値が目標値を達成して アウトプット指標 おり、予定どおり実施がなされている。		C 一部実施されている D 実施されていない	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング			
			アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上した か判断できない。	A とても効果を出し <i>て</i> いる	
	効果(インパ クト)評価		アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトカム指標の各協定締結医療機関(入院)重傷者病 ・	B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	トカム指標値ともに目標値を達成している。		
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6 年度の実績しかなく、一概に評価をするの は難しいため、引き続き、推移を見ていく 必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

2. 発熱外来 (新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備)

(新感C-201)発熱外来に対応する医療措置協定の締結 (新感B-201)新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備(発熱外来) (新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感 大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた る医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。		
指標項目 基準年 直近 結果 目標 指標項目 基準年 直近 結果 目標 (新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感 (新感P-201)発熱外来に対応する医療措置協定の締結 (新感P-201)新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備(発熱外来) 大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえたる医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。 R6年度 R11年度 (新感P-201)新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。 R6年度 R11年度 (新感P-201)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感	B 中間アウトカム 世刊	
(新感C-201)発熱外来に対応する医療措置協定の締結 (新感B-201)新興感染症の疑似症患者等の診療を行う体制の整備(発熱外来) (新感A-101)新興感染症の発生・まん延時において、新型コロナウイルス感 大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえた る医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。 新感O- のアグドーアントナートントナーアントナートントナーアント・ファイルス感		
(新感C-201)発熱外来に対応する医療措置協定の締結 大規模の医療提供体制を目指し、平時から地域における役割分担を踏まえたる医療及び新興感染症以外の通常医療の提供体制の確保を図ります。 新感P- 発熱外来を行う協定締結医 ・ R6年度 R11年度	课 目標	
発熱外米を行う協定締結医		
	R11年度	
	_ 100	
(新感C-202)流行初期医療確保措置による医療機関の確保		
新感P- 流行初期医療確保措置の対 - R6年度 R11年度 R11年度		
305(指 象となる協定締結医療機関 - 178機関 - 166機関 178機関 - 166機関 178機関 - 166機関 178機関 178		

注) 指標(1):流行初期以降(発生公表後6か月まで) 指標(2):流行初期(発生公表後3か月まで)

	個別施策	中間アウトカム				
現状・課題等	• 発熱外来を行う協定締結医療機関数については、 診療所における協定締結医療機関数が目標値に 対し8割程度のため、締結に向けたさらなる取 り組みが必要である。(新感C-201)	発熱外来の体制の整備については、一日あたりの対応 人数の実績値が目標を達成しているが(新感B-201)、 個別施策の発熱外来を行う協定締結医療機関数が目標 に達していない。				
今後の対応	• 医師会と連携しながら、発熱外来が設置可能な 医療機関との協定締結に取り組む。	・ 協定締結医療機関の確保に取り組む。				

(新感C-201) 発熱外来に対応する医療措置協定の締結

取組

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
医猪毛 百位 化八烷甲基	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	231機関

効果

初期アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	 発熱外来を行う協定締結医療	-			R6年度	
305(指 標①)	機関数	ı	-	-	231機関	-

中間アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感0-	新感O-	-			R6年度	
205(指 標⑩)	一日当たりの対応人数 	-	-	-	5,148人	_

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
			分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次		
	整合性(セオリリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論 理的整合性があるか	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルとの比較	医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	A 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
	·/ / a+1m		分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	の新たな追加の際に、部会での番譲を踏ま て設定したものであり、引き続き、注視し ていく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
			資源は用意されたか	予算(決算)書	_		
	実行(プロセ	決めたことをきちん とやっているか	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない	
	ス)評価		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度(初年度)から実績値が目標 値の約8割達成されているため、順調に		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	実施がなされている。		
		パ やったことが効いて いるのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標		A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
	効果(インパクト)評価		アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトプット 指標値及びアウトカム指標値ともに目標値 を達成している。		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		2 77772 11 0 00 100	
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
医烙造古位 七八种类	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	178機関

効果

初期アウトカム

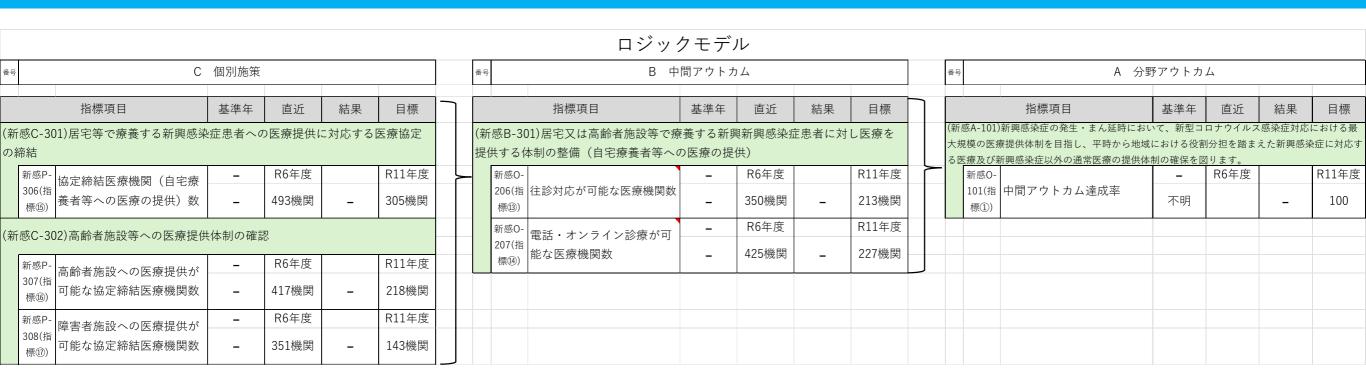
指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P- 流行初期医療確保措置の対象とな	-			R6年度	
305(指標型) る協定締結医療機関(発熱外来)数	-	-	-	178機関	_

中間アウトカム

		指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
剣	所感0−		-			R6年度	
- 1	205(指 標⑪)	一日当たりの対応人数	ı	-	1	5,148人	_

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
			分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次	(A) 十分に満たされている
	整合性(セオリリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論 理的整合性があるか	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルと の比較	ケモナルについては、〒和3年度の第8次 医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	B かなり満たされている
	У / атіш		分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	の制たな追加の際に、部会での番譲を踏ま て設定したものであり、引き続き、注視し ていく必要がある。	D 大幅に満たされていない
			資源は用意されたか	予算(決算)書	_	
	実行(プロセ	セ 決めたことをきちん とやっているか	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
	ス)評価		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度の実績値が目標値を達成して おり、予定どおり実施がなされている。	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	13 7 1	
		ンパ やったことが効いて F価 いるのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標		
	効果(インパクト)評価		アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトプット 指標値及びアウトカム指標値ともに目標値 を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

3. 自宅療養者等への医療の提供(居宅又は高齢者施設等で療養する新興感染症患者に対し医療を提供する体制の整備)



	個別施策	中間アウトカム		
現状・課題等	• 居宅等での療養(新感C-301)及び高齢者施設等 (新感C-302)ともに目標は達成した。	• 自宅療養者等への医療提供体制の整備については、目標は達成した。(新感B-301)		
今後の対応	・ 協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。	・ 協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。		

(新感C-301) 居宅等で療養する新興感染症患者への医療提供に対応する医療協定の締結

取組

効果

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	493機関

初期アウトカム

指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P- 協定締結医療機関(自宅療養	-			R6年度	
306(指	-	-	-	493機関	_

中間アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O-	往診対応が可能な医療機関	-			R6年度	
206(指 標③)	数	-	_	-	350機関	1
新感O-	電話・オンライン診療が可能	-			R6年度	
207(指 標(4))	な医療機関数	-	-	-	425機関	_

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
		分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次	○ ↓ハニ洪も きゃていて
整合性(セオリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルと の比較	ケモナルについては、〒和5年度の第8次 医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	A 十分に満たされているB かなり満たされているC ある程度満たされていない
7 / ATIM	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	で設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	D 大幅に満たされていない
		資源は用意されたか	予算(決算)書	_	
実行(プロセ		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている
ス)評価		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度の実績値が目標値を達成して おり、予定どおり実施がなされている。	C 一部実施されている D 実施されていない
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	00 70 722 00 750,200 00 040 00 00	
		アウトカムは向上したか	アウトカム指標		
効果(インパクト)評価		アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトプット 指標値及びアウトカム指標値ともに目標値 を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング		
総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
生说是古代,于///如李	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	高齢者施設対象:417機関 障害者施設対象:351機関

効果

初期	アウトカム 指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P- 307(指	高齢者施設への医療提供が	-			R6年度	
標(6)	可能な協定締結医療機関数	-	-	-	417機関	_
新感P-	 障害者施設への医療提供が	-			R6年度	
308(指標⑪)	可能な協定締結医療機関数	_	_	-	351機関	_

中間	『アウトカム 指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感0-	 往診対応が可能な医療機関	-			R6年度	
206(指	数	-	-	-	350機関	_
新感0-	電話・オンライン診療が可能	-			R6年度	
207(指標値)	な医療機関数	_	_	-	425機関	_

		評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
				分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次	A 分け分に満たされている	
		 整合性(セオ リー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論 理的整合性があるか	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルと の比較	医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
		7 / H III		分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	て設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
		実行(プロセ ス)評価		資源は用意されたか	予算(決算)書	_	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない	
			決めたことをきちん とやっているか	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング			
評				アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度の実績値が目標値を達成して おり、予定どおり実施がなされている。		
価				施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	00)(1)(00) (1)(00)		
			やったことが効いて いるのか	アウトカムは向上したか	アウトカム指標		A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
		効果(インパ クト)評価		アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトプット 指標値及びアウトカム指標値ともに目標値 を達成している。		
				外部要因の影響は	関係者ヒアリング			
		総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

4. 後方支援(新興感染症患者以外の患者に対し医療を提供する体制の整備)



	個別施策	中間アウトカム		
現状•課題等	• 医療協定締結の協議が円滑に進み、目標を達成した。(新感C-401)	• 医療協定締結の協議が円滑に進み、目標を達成した。 (新感B-401)		
今後の対応	・ 後方支援を行う協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。	・ 後方支援を行う協定締結医療機関と連携し、体制を維持していく。		

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
医烙管包丝束()和	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	47機関

効果

初期アウトカム

指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P- 後方支援を行う協定締	,			R6年度	
309(指標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一 — —	-	-	47機関	_

中間アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O-	流行初期における後方支援を	-			R6年度	
1 7118(12= 1	が	-	-	-	45機関	_

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定		
	整合性(セオ	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムは適切か 分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルとの比較	・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次(医療計画の作成において、新興感染症分野	B かなり満たされている		
	リー)評価	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま て設定したものであり、引き続き、注視し ていく必要がある。	C ある程度満たされていない D 大幅に満たされていない		
	実行(プロセー決めたことをきちん		資源は用意されたか	予算(決算)書	_			
			施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング				
	ス)評価	とやっているか	アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度の実績値が目標値を達成して おり、予定どおり実施がなされている。	C 一部実施されている D 実施されていない		
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	00) (1) Z Z 00) X // E/O O C (10 C O O O			
			アウトカムは向上したか	アウトカム指標				
	効果(インパクト)評価	やったことが効いて いるのか	アウトプット指標値とアウトカム指標値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトプット 指標値及びアウトカム指標値ともに目標値 を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない		
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング				
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき		

5. 医療人材派遣(新興感染症に対応する医療従事者を確保し、 医療機関その他の機関に派遣する体制の整備)

						ロジック	クモデ	<u>ル</u>									
番号 C	固別施策				 番号	В中	中間アウトカ	4			No.	号	A 分野	野アウトカム	<u></u>		
指標項目	基準年	直近	結果	目標		指標項目	基準年	直近	結果	目標			指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新感C-501)医療人材派遣を行う医療措置協定の締結)1)新興感染症に対応する医療 5体制の整備(医療人材派遣)		保し、医療	機関その作	也の機関	大	大規模の図	01)新興感染症の発生・まん延時におい 医療提供体制を目指し、平時から地域に び新興感染症以外の通常医療の提供体制	ぱにおける役割:	割分担を踏まえ		
新感P- 医療人材派遣を行う医療措	. –	R6年度		R11年度	新感0-		_	R6年度		R11年度		新感C		-	R6年度		R11年度
310(指標2) 電協定締結医療機関数	-	31機関		24機関	209(指 [標20)	医療人材派遣可能人数	-	155人	-	106人		101(打標①	指 中間アウトカム達成率 浏	不明		_	100

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	• 医療機関数としては目標を達成しているが、派 遣可能な人材を職種別にみると、看護師やロジ (事務職)は目標を達成していたが、医師につ いては目標の8割であることから、医師確保の 取り組みが必要。(新感C-501)	• 医療機関数としては目標を達成しているが、派遣可能な人材を職種別にみると、看護師やロジ(事務職)は目標の人数を達成していたが、医師については目標の8割であることから、医師確保の取り組みが必要である。(新感B-501)
今後の対応	• 医師会と連携し感染症対応可能な人材確保に取り組む。	• 医師会と連携し感染症対応可能な人材確保に取り組む。

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
	医療措置協定の締結に向けて各 医療機関と調整を行う	令和5年度~	県 医療機関	地域保健課	_	_	31機関

効果

初期アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	医療人材派遣を行う医療措置	-			R6年度	
310(指 標②))	協定締結医療機関数	-	-	ı	31機関	I

中間アウトカム

指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O-	-			R6年度	
209(指 医療人材派遣可能人数 標⑩)	_	-	-	155人	_

評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
		分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次	○上ハニ洪セ ナカブルス	
整合性(セオリリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルと の比較	医療計画の作成において、新興感染症分野 の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	● 十分に満たされている B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
у / втіш	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	で設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
		資源は用意されたか				
宝行(プロセ	実行(プロセ ス)評価 とやっているか	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング		予定通り実行されているB ほぼ実行されているC 一部実施されているD 実施されていない	
		アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度の実績値が目標値を達成して おり、予定どおり実施がなされている。		
		施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	00) () L C 00) X MENO		
		アウトカムは向上したか	アウトカム指標		A 1.74 ### ### ## ## ###	
効果(インパクト)評価	やったことが効いて いるのか	アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値	・直近の指標結果をみると、アウトプット 指標値及びアウトカム指標値ともに目標値 を達成している。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
		外部要因の影響は	関係者ヒアリング			
総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・医療機関数としては目標を達成しているが、派遣可能な人材を職種別にみると、医師の実績が目標の8割となっていることから、さらなる医療人材の確保に取り組んでいく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

6. 入院調整、臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の対応を想定した平時における取組

									ロジック	クモデ	レ									
番号	С	個別施策			1		番号		В中	間アウトカ	<u>ل</u>				番号	A 分	野アウトカ	<u>ل</u>	1	
	指標項目	基準年	直近	結果	目標	\bigcap			指標項目	基準年	直近	結果	目標			指標項目	基準年	直近	結果	目標
(新	感C-601)入院調整体制の構築							感B-60	01)入院調整、臨時の医療施設	と及び入院行	持機施設の 記	2置及び運	営の確認	_	大規模の	01)新興感染症の発生・まん延時にお 医療提供体制を目指し、平時から地域 び新興感染症以外の通常医療の提供体	における役割	剽分担を踏ま		
	新感P- 沖縄県感染症対策連携協議	-	R6年度		R11年度			新感0-	八	_	R6年度		R11年度		新恩	0-	_	R6年度		R11年度
	311(指標③) (計画表記へ正列泉建房協議 会の開催回数 (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記) (表記)	-	1	-	1			210(指	備・点検見直し	_	0	-	1		101 標((指 中間アウトカム達成率 ①)	不明		-	100
(亲	感C-602)臨時の医療施設及び入院待	・ 接施設の診	设置及び運営	営の流れの	確認															
	新感P- 212(#) 設置運営マニュアル等の整	_	R6年度		R11年度															
	312(指標/29) (ボーム (ボーム (ボーム (ボーム (ボーム (ボーム (ボーム (ボーム	-	0	ı	1															

	個別施策	中間アウトカム
現状・課題等	・ 設置運営マニュアル等の整備・点検見直しについては、医療措置協定締結を優先的に行ったため、情報収集にとどまった。(新感P-602)	• 医療措置協定締結を優先的に行っているため、未着手となっている。 (新感B-602)
今後の対応	• 新興感染症等の発生に備え、引き続き、毎年、協 議会を開催し、関係機関と連携して医療体制の確 保と構築に向けた取り組みを継続していく。	入院調整マニュアル等の整備に取り組んでいく必要がある。
	• 新型コロナの対応を参考としながら、設置運営マ ニュアル等の整備に取り組んでいく必要がある。	

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
	沖縄県感染症対策連携協議会の 開催	毎年度	県	地域保健課	150,801円	641,000円	1回開催(令和7年3月)

効果

初期アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	沖縄県感染症対策連携協議	-			R6年度	
311(指 標③)	一种県際栄証対象連携協議 会の開催回数	ı	-	ı	1	ı

中間アウトカム

指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O- 入院調整マニュアルの整備・	1			R6年度	
210(指 大院調査マニエアルの歪 備・ 点検見直し	ı	-	ı	0	_

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定	
			分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次	(A) 十分に満たされている	
	整合性(セオリー)評価	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデル との比較	医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	B かなり満たされている C ある程度満たされていない	
	J / 11 mm	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	て設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	D 大幅に満たされていない	
			資源は用意されたか	予算(決算)書	・取り組み記載の決算額のとおり必要な財源を確保できた。		
	実行(プロセ 決めたことをきちん とやっているか		施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング	・予定どおり施策が実施された。		
			アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	・令和6年度でみると、予定どおりであっ た。	C 一部実施されている D 実施されていない	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	・予定どおり協議会が開催が行われた。		
			アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果しかないため、向上した か判断できない。		
	効果(インパクト)評価	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプッ トの指標値	・令和6年度の結果だけしかないので、た だちに、アウトプットの指標値とアウトカ ム指標値の関係を判断するのは困難である。	A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない D 効果を出していない	
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	・協議会を通じて、関係機関と連携して取 り組みを継続していく必要がある。		
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見	・取り組みが始ったばかりであり、令和6年度の実績しかなく、一概に評価をするのは難しいため、引き続き、推移を見ていく必要がある。	A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき	

(新感C-602) 臨時の医療施設及び入院待機施設の設置及び運営の流れの確認

取組

事業(取組)名称	実施内容	実施期間	実施主体	所管課	令和6年度 決算額(千円)	令和7今年度 予算額(千円)	実績・成果(アウトプット)
	設置運営マニュアル等の整備・点 検見直しを行う	毎年度	県	地域保健課	_		コロナ感染症対応時の資料等の情報収集を行った。

効果

		初	期	ア	ウ	1	力	1
--	--	---	---	---	---	---	---	---

指標項目		基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感P-	設置運営マニュアル等の整	-			R6年度	
312(指 標 2 4)	備・点検見直し	-	-	ı	0	_

中間アウトカム

	指標項目	基準年	直近の 前々年度	直近の 前年度	直近	結果
新感O-	入院調整マニュアルの整備・	-			R6年度	
210(指 標②)	210(指 上校日志」	-	-	-	0	_

	評価軸	評価ポイント	具体的な評価ポイント	情報源	評価結果	判定
			分野・中間アウトカムは適切か		・分野・中間アウトカムや指標及びロジックモデルについては、令和5年度の第8次	(A) 十分に満たされている
	整合性(セオー	ロジックモデルの左 右のつながりに、論	分野・中間アウトカムの指標は適切か	・他府県ロジックモデルと の比較	医療計画の作成において、新興感染症分野の新たな追加の際に、部会での審議を踏ま	B かなり満たされている C ある程度満たされていない
	リー)評価	理的整合性があるか	分野・中間アウトカム⇔施策のつなが りが強いか	・協議会・部会での審議	で設定したものであり、引き続き、注視していく必要がある。	D 大幅に満たされていない
			資源は用意されたか	予算(決算)書	_	
		決めたことをきちん	施策は実施されたか、進捗はどうか	関係者ヒアリング	・医療措置協定締結を優先的に行ったため、 情報収集にとどまった。	A 予定通り実行されている B ほぼ実行されている C 一部実施されている D 実施されていない
	ス)評価	平価 とやっているか	アウトプットが生まれているか	アウトプット指標	_	
			施策関係者はどう感じているか	関係者ヒアリング	_	
			アウトカムは向上したか	アウトカム指標	・直近の指標結果が0のため、判断できな	
	効果(インパクト)評価	やったことが効いて いるのか	アウトプット指標値とアウトカム指標 値の関係は	アウトカムとアウトプット の指標値		A とても効果を出している B 効果を出している C あまり効果を出していない
			外部要因の影響は	関係者ヒアリング	・医療措置協定締結を優先的に行ったため、 情報収集にとどまった。	D 効果を出していない
	総合評価	この施策をやり続 けるべきか	上記3評価を踏まえての評価	協議会・部会審議での主な意見		A 強化すべき B 維持すべき C 検討を続けるべき D 中止を検討すべき E 中止すべき